

# 埋蔵文化財発掘調査書

## 未報告は

竹内孝治



**問** 24年間にわたり発掘調査報告書1677件を作成せず今年3月末まで、調査委託費約5900万

円を調査会に留保されていて、過日の新聞報道で知りおどろいた。不適切な会計処理と、調査会の

# 報告書を 年度内にまとめ発刊する

教育長

**答** 昭和40年以降の大きな開発事業の中、発掘調査に対応するため、埋蔵文化財調査会を設立した。しかし当時から現地調査

を優先せざるを得ない状態が続く整理・報告が滞った。職員は日常業務の上で過年度調査の整理・年報づくりに努力したが、



発掘調査

不透明な決算について、疑問を抱く、責任の所在を明らかにされたい。

全て処理することができなかった。なお、本年度末には報告書を年報にまとめ発刊する。

# 危機感を抱く我がまちの農業は

**問** 荒廃する農業と環境について、健全な育成と手立てを求め、今日まで何回か質問を重ねてきた。

しかし毎回抽象的な回答で危機感を抱いている。

市の基幹産業でもあり環境保全をなす農業が後継者も育たないようでは市の将来はない。特別委員会設置が必要と思つ。

# 規模拡大に取り組んでいる

環境経済部長

**答** 米政策改革大綱により単に生産調整目標面積を達成する目標から、売れる米づくりを目指し、効率的かつ安定的な経営をするため、規模拡大をはかる意欲ある農業者を

認定し、環境こだわり農作物に取り組み、特色ある農作物の生産拡大につとめていきたい。

# 自校方式の

## 中学校給食を

野並享子



**問** 旧野洲町の9月議会に「自校方式の中学校給食の実施を求める請願」が提出された。請願の審議では、大規模な給食センターでは「地産地消」

②一年前に選択制も検討

べきである。

にも限界があり、食育食農の観点から自校方式の給食が求められていた。これに対して、「合併後直ちに検討会を立ち上げる」という答弁であったが、①見識者などを入れての検討委員会の立ち上げはどうなっているのか。

③自校方式の給食を実施する。給食を教育として位置づける必要がある。



給食センター

# 給食センターを新築

## 地産地消も考えて

教育長

**答** ①検討委員会のメンバーは、教師・生徒・地域・保護者で人選は済んでいる。残りは農業者だけである。

③自校方式は考えていない。給食センターを新築し、地産地消も考えながら実施していきたい。

②朝食抜きの子も有り、食育教育は必要。選択制

# その他の質問

- 学童保育所について
- 幼児教育について
- ゴミ問題について

# 合併後のサービスは

## 高い方に

小菅六雄



**問** 二町の各施策は合併にあたり調整されたが、これまで職員と町民の努力で作られた良き施策が後退、あるいは廃止されている。旧中主町の母子家庭への町営住宅家賃補助、また、高齢者一人暮らしへの送迎サービスが廃止された。本来、合併となれば「サービスは高

い方に」ということが言われており、これらのサービスは存続すべきである。

ビスは存続すべきである。

## 母子家庭には

## 自立支援事業を実施

市民健康福祉部長

**答** 母子家庭に対しては、新たな事業を実施し、自立支援を行なう。高齢者

送迎サービスについては、旧野洲町の例により、福祉タクシー運賃助成を実施する。

旧野洲町の例により、福祉タクシー運賃助成を実施する。

## 公費での橋設置は 不当な支出ではないのか

## 不当ではない

市長

**問** 平成十一年度、乙渚工場団地造成に絡み、新設町道に接する企業との間に橋が設置された。本来、企業が橋を設置する場合は、河川の占用許可を受け、その後、自費で設置しなければならぬ。にもかかわらず、公費で橋を設置したのは、公金の不当な支出である。橋の設置費用を企業に請求すべきである。

**答** 開発基準に基づき設置したもので不当ではない。第1期造成工事区域に隣接する土地に既存の公衆用道路があった。この道路は近隣の企業や住民も利用していたが、新設道路や水路の整備に伴い、この公衆用道路が分断されることを避けるために設置したものである。



## ジェンダーフリー教育は

田中弘一



**問** 学校の推進計画に、ジェンダーフリー教育の促進があるが、その内容と男女混合名簿の使用状況はどうなっているのか。男らしさ、女らしさを否定する教育は、日本人

の人格の正常性を自壊させるものと考えるが、教育のあり方について伺いたい。  
小学校の性教育で「性交の仕組み」や「射精の仕組み」を教えていると

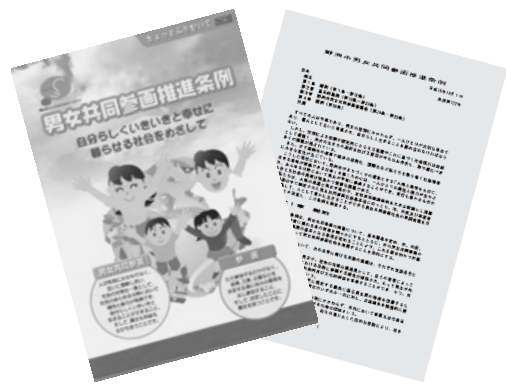
## 思春期の身体 の仕組み指導

教育部次長

**答** 「ジェンダーフリー」という言葉を学校では使っていないし、男女共同参画教育をジェンダーフリー教育と名づけていない。

があり、そのような考え方の違いを認め合う教育が大切と考えている。性教育は、学習指導要領に準拠して計画的に進めている。小学校においては、思春期の身体と心の変化、初経や精通の仕組み、さらには受精の仕組みについて中学年から高学年で指導している。

従来の名簿は、男女別を意識づけることにつながっていたことから、男女混合名簿を使用している。また、必要に応じて男女別にすることで使い分けをしている。  
男らしさ、女らしさは、人によって捉え方に違い



## その他の質問

○野洲川右岸線の早期実現について

聞くが、明らかに逸脱していると思う。画一的な教育の目的や児童、保護者の反応について伺う。